

第 59 期・2018 年度 事業計画および収支予算

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

一般社団法人 出版文化国際交流会

〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町 1-2-1

Tel. 03-3291-5685 Fax. 03-3233-3645

<http://www.pace.or.jp>

2018年度事業計画案

はじめに

本会は本年度10月に創立65年を迎えることとなりますが、これもひとえに会員社の皆さまの変わらぬご理解・ご協力をいただけたからであり、改めて心より感謝申しあげます。今後も創立以来の基本理念を尊重しつつ、会員社の皆さまと国際交流基金を始めとする関係機関・団体等のご協力をいただきながら日本の優れた出版コンテンツの海外普及に努めたいと存じます。

2018年度事業方針について

内閣府より認可を受けた一般社団法人として、健全な財政運営とともに移行認可条件である公益目的支出計画の着実な実施が求められています。今後も法人運営、事業実施の両面において一層堅実な運営に努めたいと存じます。

本会の公益目的支出計画の継続事業である、東京国際ブックフェアは本年度も開催休止が主催者側より発表されました。今後の推移を注視しながら開催協力の準備をいたします。

外務省、国際交流基金及び本会との協議により1987年に発足した「国際ブックフェア参加プロジェクト」は国際交流基金との共催事業として本年で32年目を迎えます。年々予算が縮小される傾向にありますが、よりよい成果を得られるよう尽力いたします。

将来的な発展が期待される東南アジア、中東地域さらには中南米の出版市場については国際ブックフェアを含む予備調査、情報収集を引き続き行っていきます。

第70回フランクフルト・ブックフェア、第24回ソウル国際ブックフェアでは、単独出展社のお世話をしつつ、日本会場を構成し出版文化の交流促進を図る役割を担います。特に一昨年来、統一したブースデザイン、4号館におけるベストロケーション、ハッピーアワー・パーティの盛況等で高い評価を得ているフランクフルト・ブックフェアでは、関係者の皆さまのご協力をいただきながら更なる拡充を図り、同時に新年度でも経済産業省「クリエイターを中心としたグローバルコンテンツエコシステム創出事業費補助金」の申請を行い、出展社の経費負担の軽減を図っていく予定です。

フランクフルト・ブックフェアへの日本の参加のあり方について検討していただく「フランクフルト・ブックフェア出展社の会」では、出展関係者のご意見を幅広く伺い新たな企画の実施や出展環境の整備、出展社の増加に繋げていきたいと存じます。

広報活動では、会報の発行とホームページの充実を図っていききたいと存じます。評価の高い英文版・日本出版界の実用ガイド、『Accessing the Japanese Publishing Industry (略称 AJPI)』は版を改め最新の情報を盛り込みたいと存じます。

1993年より導入していただいている納本制度による特別賦課会費は本会の財政内容に、大きな役割を果たしております。新年度も引き続き会員社の皆さまのご理解・ご支援をぜひともお願い申し上げます。

2018年3月27日

一般社団法人 出版文化国際交流会
会長 竹内 和芳

事業計画詳細

I. 国際ブックフェアへの参加事業

1. 出展参加

(1) 東京国際ブックフェア

今年度も東京国際ブックフェアは開催休止となります。来年度は新たな読書推進イベントの企画開催が模索されるなか、主催者の動向を見守りたいと存じます。

(2) 国際交流基金との共催事業により参加する国際ブックフェア

世界各地の国際ブックフェアで日本ブースは大変な人気を博しており、在外公館、国際交流基金の海外事務所を通してのブックフェア参加申請は例年、多数寄せられます。今年度は国際交流基金全体予算の大幅減により、新年度参加予定のブックフェア一覧は5頁のリストのとおりですが、限られた予算で最大の成果を得られるよう、事業を進めていく所存です。

クオリティの高い日本からの出展図書はブックフェア会場で来場者を魅了し、終了後は日本語学科のある大学等、関係機関へ寄贈され、長期にわたって活用されます。中南米や中東地域という比較的日本の図書になじみの薄い国々に図書を届けられるこのプロジェクトは非常に有意義と好評を得ています。

またブースでの図書販売は現地書店の協力を得てソウル、中東各地で実現していますが、受注販売も含め香港、中南米等今後さらに拡大を目指していきたいと考えております。

(3) 第24回ソウル国際ブックフェア 2018

今年は国際交流基金ソウル文化センターが独自で日本ブースを設けます。好評な期間中の来場者への図書販売については引き続き(株)トーハン、教保文庫の協力をいただき実施の予定です。本会では別途、単独出展社のお世話も準備いたします。

この事業につきましても可能な限り経済産業省の「クリエイターを中心としたグローバルコンテンツエコシステム創出事業費補助金」申請をしたいと考えています。

(4) 第70回フランクフルト・ブックフェア 2018

1) 日本インフォメーション・デスク、共同展示場、単独出展社ブースの配置で日本パビリオンを構成します。

2) 今年度も日本パビリオンのロケーションは4号館1階で入口正面のベストロケーションを確保、さらに念願のスクエア型のブース構成に向けて主催者と折衝を行っています

3) ブースデザインはさらに魅力ある形の模索を図り、日本パビリオンとして盛りあげてまいりたいと存じます。継続希望の多いハッピーアワー・パーティーにつきましても実施いたします。

- 4) 単独出展社ブースはサイズ、位置等、可能なかぎり希望に沿うべくブックフェア事務局と折衝し、出展環境の整備・拡充に努めたいと存じます。
- 5) 共同展示場には、「日本インフォメーション・デスク」と(一社)自然科学書協会、(一社)大学出版部協会の協力参加による共同展示コーナー、およびを1メートル幅のコーナー展示と商談スペースを設置する予定です。
- 6) 出展社のご協力をいただき今回もテーマ展示等の企画を試みたいと存じます。
- 7) 日本パビリオンにおける書籍の展示・紹介にとどまらず、日本の出版文化を幅広く紹介するため、在フランクフルト日本総領事館のご協力をいただく予定です。また生け花を始めとする他の国際文化団体との連携を図ります。
- 8) 新年度も、情報を整理の上、単独出展社分を含めたブース借料、ブース設営費、送料等の出展経費に関し、経済産業省の「クリエイターを中心としたグローバルコンテンツエコシステム創出事業費補助金」の申請を試みたいと思います。
- 9) フランクフルト・ブックフェアへの日本の参加のあり方を諮問いただく「フランクフルト・ブックフェア出展社の会」は出展関係者のご意見を幅広く伺う形で一層の情報収集に努め、ブックフェア事務局との連携を密にし、出展環境の整備、出展社の増加に繋げていきたいと存じます。

2. 国際ブックフェア関連事業

- (1) ライプチヒで開催される「世界で最も美しい本コンクール」へ出品

「第51回・造本装幀コンクール」の受賞作品を、(一社)日本書籍出版協会と共同出品いたします。本コンクールには毎年30ヶ国を超える国々から出品され、翌年3月のライプチヒ国際ブックフェア開催時に表彰式が行われ、その年のフランクフルト・ブックフェアで全作品が特別展示されます。

II. 広報活動

1. 会報の発行

2013年度に復刊した会報の発行を年2回に定例化させ、ホームページと併せて広く本会の活動をお知らせしていきます。

2. ホームページによる広報

ホームページ上で本会の活動を紹介。会員社を始め、オンライン書店、主要国際ブックフェアホームページへのリンク等の基本情報とともに、主要な国際ブックフェア開催日一覧や派遣専門家の最新報告等を行っていく予定です。

3. 『Accessing the Japanese Publishing Industry (略称 AJPI)』

英文版・日本出版界の実用ガイド

好評であった従来の『Practical Guide to Publishing in Japan』を受け継ぎ、より

汎用性の高い形で 2015 年度に AJPI を作成いたしました。具体的には A5 判変型、本文 32 頁、翻訳出版権・図書の売り込みや購入の商取引につながる基本情報、翻訳出版助成機関の紹介、主要な出版関連機関、団体の住所等、外国の出版関係者に有用と思われる情報をコンパクトに紹介する内容で、本会のホームページにも同じ内容を掲載しています。新年度については版を改め、最新の情報を盛り込みたいと存じます。

Ⅲ．関連活動

納本制度の継続実施

ご協力いただいていない会員出版社にはご協力依頼を改めてお願いし、既にご協力いただいている会員出版社には更に上積みのご協力を引き続きお願いする所存です。

2018 年度参加予定の「国際ブックフェア」

| 国際ブックフェア名 | 会期 | 備考 |
|-------------------------------|--------------|-------|
| 1. 第 44 回ブエノスアイレス国際ブックフェア | 4.25～5.15 | |
| 2. 第 31 回テヘラン国際ブックフェア | 5.4～14 | |
| 3. 第 24 回ソウル国際ブックフェア | 6.20～24 | 事務局派遣 |
| 4. 第 23 回リマ国際ブックフェア（ペルー） | 7.20～8.5 | |
| 5. 第 25 回サンパウロ国際ブックフェア〈ビエンナレ〉 | 8.25～9.4 | 事務局派遣 |
| 6. 第 70 回フランクフルト・ブックフェア | 10.10～14 | 事務局派遣 |
| 7. 第 23 回アルジェ国際ブックフェア〈アルジェリア〉 | 10.24～11.3 | |
| 8. 第 11 回キト国際ブックフェア〈エクアドル〉 | 11.10～19 | |
| 9. 第 43 回クウェート国際ブックフェア | 11.14～24 | |
| 10. 第 24 回マスカット国際ブックフェア（オマーン） | 2019.2 下旬 | 事務局派遣 |
| 11. 第 37 回リヤド国際ブックフェア | 2019.3.13～24 | |

【注 1】 会期は実際と異なる場合があります。

【注 2】 ソウル国際ブックフェア、モスクワ・ノンフィクションブックフェアでの日本ブース設置に関しては、国際交流基金現地事務所が主催の予定。また香港ブックフェアについては在香港日本総領事館が出展を予定している。

第59期 2018年度(平成30年度)収支予算

自: H30年4月1日 至: H31年3月31日

一般社団法人 出版文化国際交流会

(単位:円)

| 項目 | 科目 | H30収支予算案 | H29収支予算案 | 増減 |
|-----------------|--------------------|-------------|-------------|------------|
| 前期繰越 | | 43,588,000 | 44,772,000 | -1,184,000 |
| 1 事業活動収入 | | | | |
| 入会金収入 | | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 会費収入 | 会費収入 | 14,140,000 | 14,440,000 | -300,000 |
| | 特別会費収入 | 420,000 | 420,000 | 0 |
| | 特別賦課会費収入 | 6,548,000 | 6,622,000 | -74,000 |
| 事業収入 | フランクフルト・ブックフェア参加収入 | 33,907,000 | 27,447,000 | 6,460,000 |
| | ソウル・ブックフェア参加収入 | 1,221,000 | 943,000 | 278,000 |
| | 国際交流基金預託金 | 9,724,000 | 9,670,000 | 54,000 |
| 補助金等収入 | 受取利息 | 400 | 400 | 0 |
| | 雑収入 | 2,500 | 2,500 | 0 |
| その他 | その他収入 | 238,000 | 291,000 | -53,000 |
| 当期収入合計 | | 66,300,900 | 59,935,900 | 6,365,000 |
| 前期繰越+当期収入合計 | | 109,888,900 | 104,707,900 | 5,181,000 |
| 2 事業活動支出 | | | | |
| 事業費支出 | フランクフルト・ブックフェア参加費 | 37,644,000 | 30,796,000 | 6,848,000 |
| | ソウル・ブックフェア参加費 | 1,955,000 | 1,605,000 | 350,000 |
| | 国際ブックフェア参加費 | 1,252,000 | 693,000 | 559,000 |
| | 国際交流基金預託金 | 3,436,000 | 5,426,000 | -1,990,000 |
| | 東京国際ブックフェア参加費 | 10,000 | 353,000 | -343,000 |
| | 調査費 | 644,000 | 1,090,000 | -446,000 |
| 管理費支出 | 給与手当 | 10,116,000 | 10,116,000 | 0 |
| | 福利厚生費 | 1,426,000 | 1,418,000 | 8,000 |
| | 旅費交通費 | 886,000 | 943,000 | -57,000 |
| | 通信運搬費 | 985,000 | 983,000 | 2,000 |
| | 印刷費 | 995,000 | 899,000 | 96,000 |
| | 会議費 | 165,000 | 206,000 | -41,000 |
| | 慶弔費 | 10,000 | 13,000 | -3,000 |
| | 保険料 | 7,000 | 7,000 | 0 |
| | 消耗品費 | 154,000 | 196,000 | -42,000 |
| | 雑費 | 208,000 | 224,000 | -16,000 |
| 不動産関係 | 賃借料 | 1,854,000 | 1,854,000 | 0 |
| | 水道光熱費 | 200,000 | 200,000 | 0 |
| 税金関係 | 租税公課 | 79,000 | 87,000 | -8,000 |
| その他 | その他支出 | 0 | 2,000 | -2,000 |
| 当期支出合計 | | 62,026,000 | 57,111,000 | 4,915,000 |
| 次期繰越額 | | 47,862,900 | 47,596,900 | 266,000 |

(注1) 借入金限度額 0円

(注2) 債務負担額 0円